

1000年に一度の大雨を想定した 吉田町洪水ハザードマップ

ハザードマップで自宅と避難先が
地図のどこにあるか確認して、
印をつけてみましょう。



各種ハザードマップの作成、公表
町では、洪水ハザードマップの他に、津波ハザードマップ、
地震防災ガイドブック、土砂災害ハザードマップを町HPで
公開していますので、合わせてご確認ください。



解説動画は
こちらから

吉田町洪水ハザードマップ 検索

「吉田町洪水ハザードマップ」は、大井川、湯田川、坂口谷川が想定最大規模の降雨(1000年に
一度程度の確率で起こる降雨)により堤防が壊れたり、水があふれ出たりした際に想定される被害
を示したものです。

このハザードマップを参考に自宅や通学先・通勤先などにおいて想定される災害状況を認識し、避
難経路や避難先を確認してください。また、家庭や学校、事業所、地域における防災・減災活動、訓練等
にご活用ください。

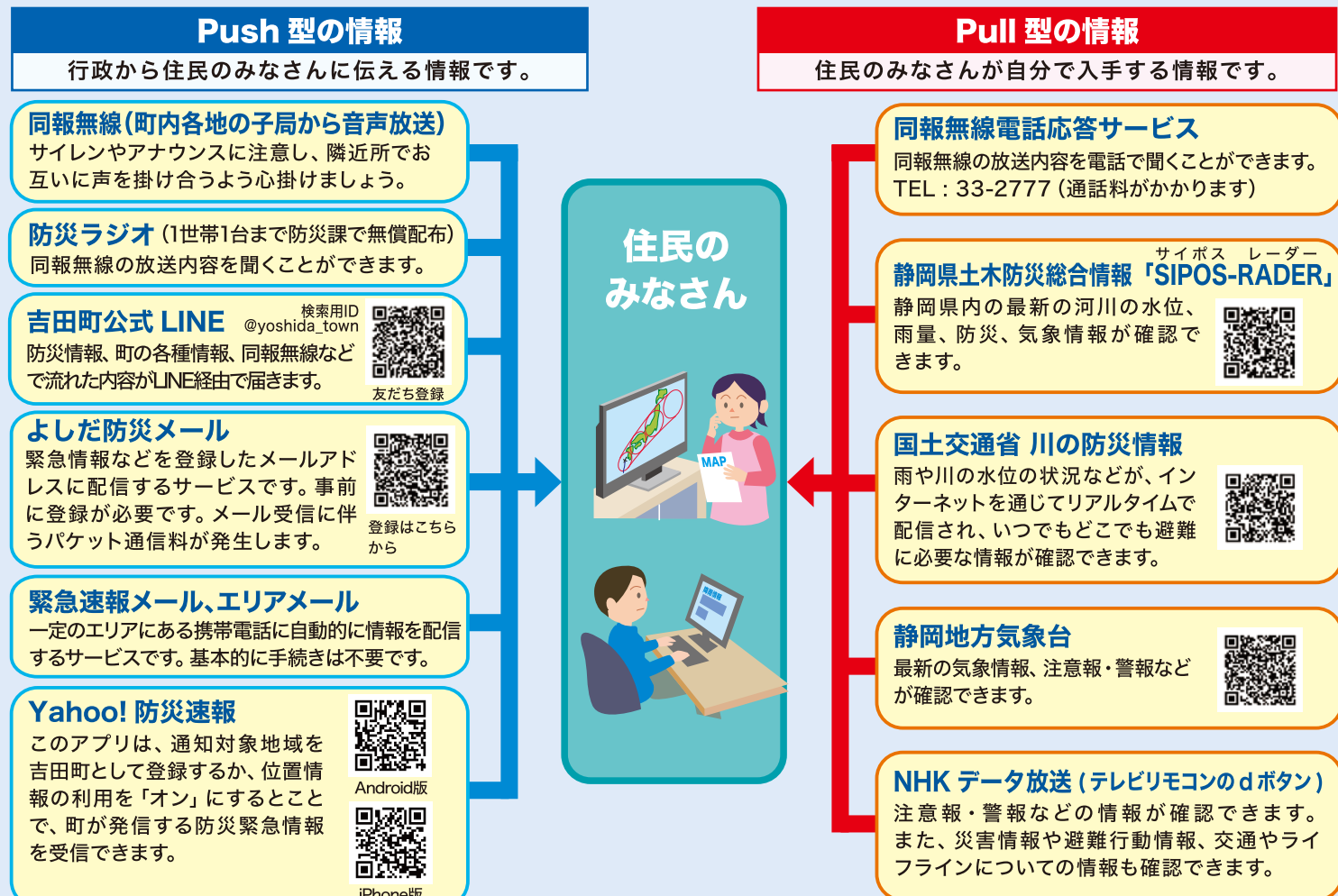
ハザードマップ 吉田町防災課 〒421-0395 静岡県榛原郡吉田町住吉87番地
お問い合わせ先 電話番号/0548-33-2164 FAX/0548-32-6121

吉田町 作成 令和3年3月
修正 令和4年5月

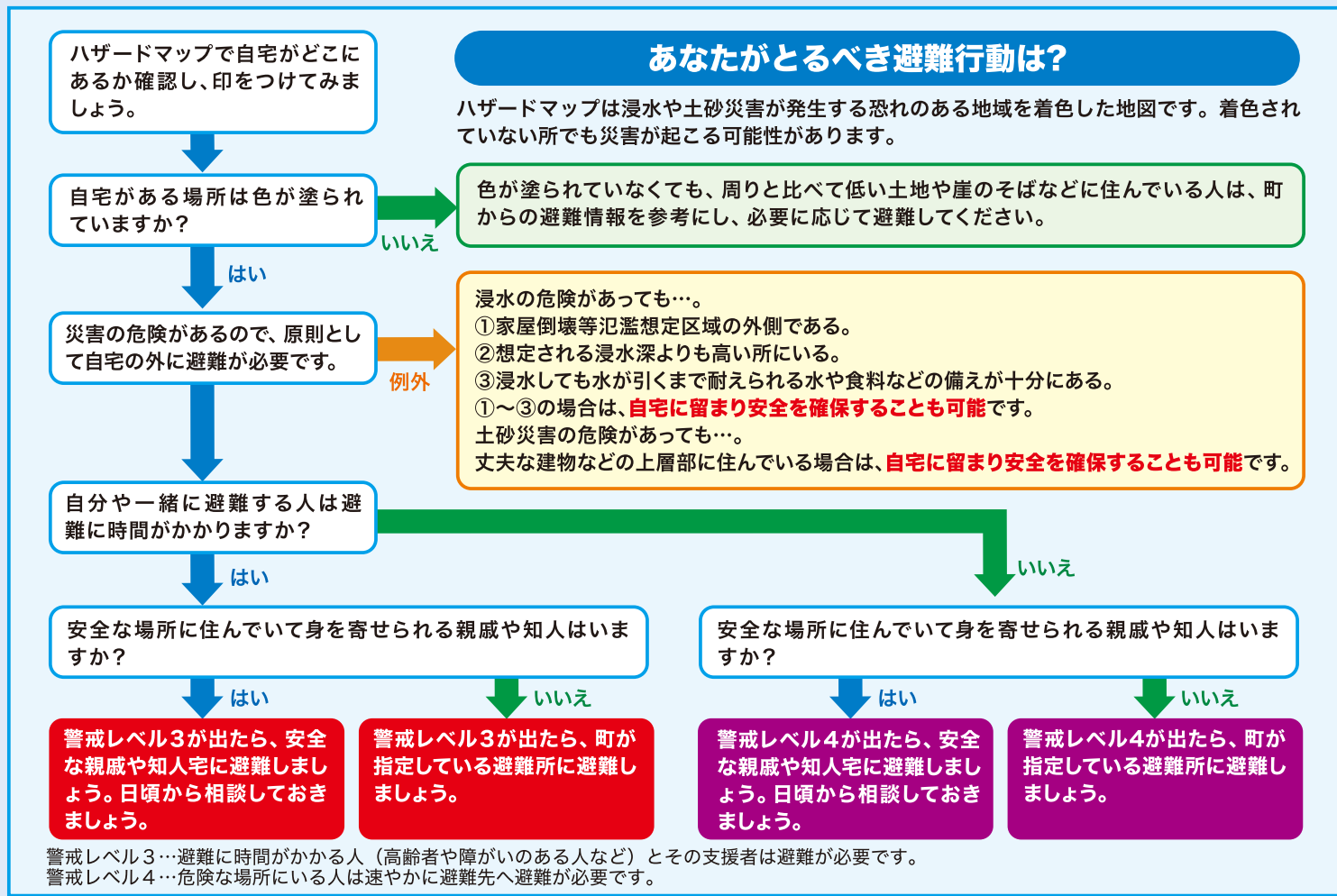
5段階の警戒レベルと防災気象情報

警戒レベル	住民のみなさんが取るべき行動	吉田町からの情報	気象庁等の情報
5	災害がすでに発生しており、命を守るための最善の行動をとる	緊急安全確保 ※町が災害の状況を確認に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。	大雨特別警戒 危険度分布 氾濫発生情報
4	危険度分布の「極めて危険」(濃紫)出現時には、道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく 速やかに避難 危険な区域の外や少しでも安全な場所に速やかに避難	避難指示	土砂災害警戒情報 高潮警戒情報 極めて危険 非常に危険 氾濫危険情報
3	土砂災害警戒区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は避難準備が整い次第避難行動開始、高齢者等の方は速やかに避難	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 警戒(警戒級) 氾濫警戒情報
2	ハザードマップ等により、災害が想定される区域や避難所、避難経路等を確認し避難行動の準備		大雨・洪水高潮注意情報 注意(注意報級) 氾濫注意情報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報

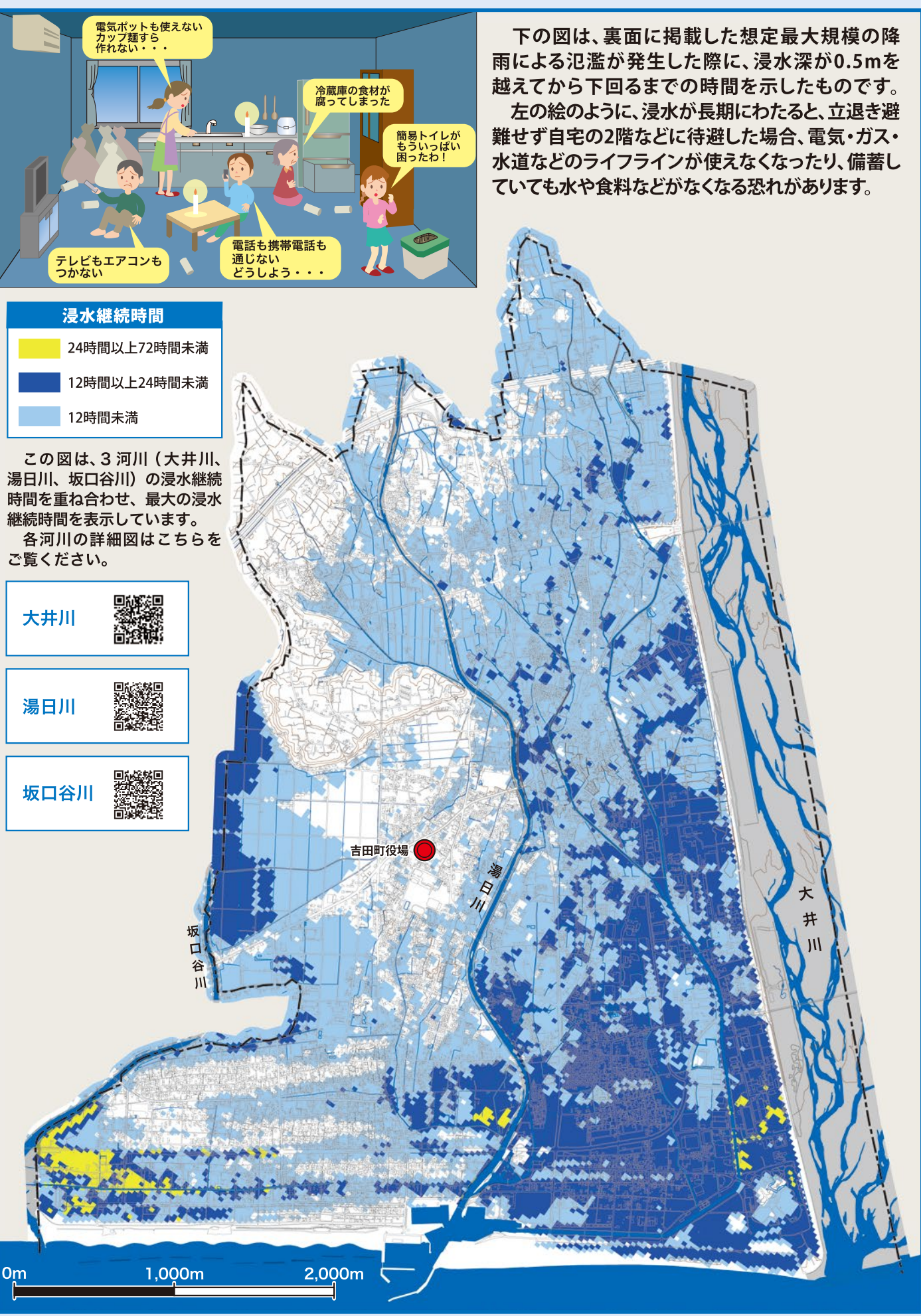
情報入手先



避難行動判定フロー



洪水浸水想定区域 (浸水継続時間)



風水害時の避難行動

■家族の連絡先などを記載しましょう

名 前	電話番号	備 考

■ハザードマップを見て自宅のある場所を確認しましょう
自宅は洪水浸水想定区域内にあるか ☐ある ☐ない 自宅は家屋倒壊等氾濫想定区域内にあるか ☐ある ☐ない
想定される浸水深は m 浸水継続時間は 時間
自宅は土砂災害警戒区域内にあるか ☐ある ☐ない 自宅は土砂災害特別警戒区域内にあるか ☐ある ☐ない
自宅の近くに内水氾濫による過去の浸水実績箇所はあるか ☐ある ☐ない

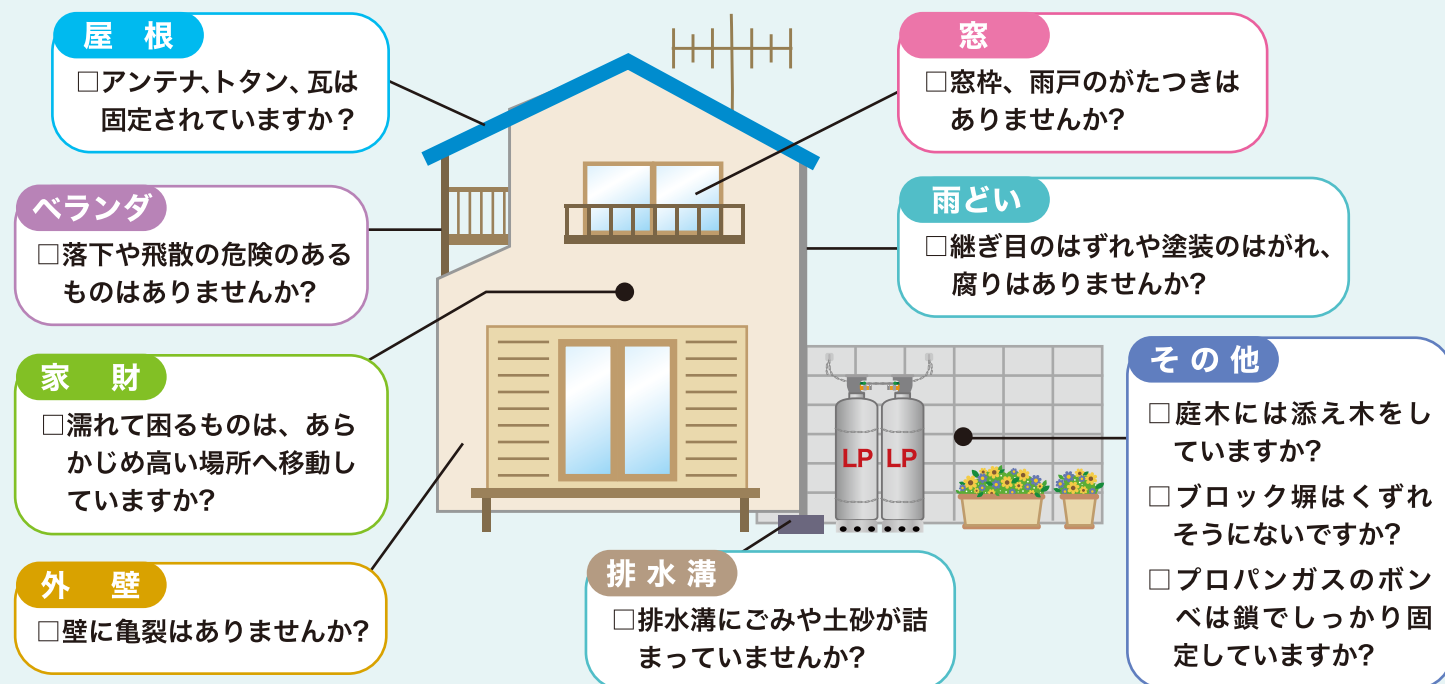
■日頃から、避難行動を考えましょう
☐わが家は自宅に留まり安全を確保します
☐わが家は警戒レベル _____が出たら・・・
☐安全な _____の家に避難します(親戚や知人宅を書きましょう)
☐町が指定した _____に避難します(避難所の名称を書きましょう)

※避難行動判定フローを参考に、避難行動について家族で話し合ってください

吉田町の情報	気象庁等の情報	わが家の行動
警戒レベル 1	■早期注意情報	●雨風が強くなる時期にやっておくべきことを書いておきましょう
警戒レベル 2	■大雨注意報 ■高潮注意報 ■洪水注意報 ■危険度分布「注意(注意報級)」 ■氾濫注意情報	
警戒レベル 3	■高齢者等避難	●避難行動を行う際の注意事項を書いておきましょう
警戒レベル 4	■避難指示	
警戒レベル 5	■緊急安全確保	もしも逃げ遅れたら、命を守るための最善の行動を取ってください！ 外に出ることが危険な場合は、その時点でいる建物内の安全な場所で身をを守ってください！

事前の備え

自宅周りの確認



非常持出し品・備蓄品



避難

避難の心得



避難生活

避難生活に備えて必要な物資を確保しよう

自宅待機または知人宅へ避難する場合

- 災害発生時でも、自宅の安全が十分に確保できれば在宅を続けることが可能です。しかし、災害発生時には建物が無事であっても、ライフラインが停止し、食料や日用品の調達が困難になることが予想されます。道路の復旧や救護物資が届くまでの間、最低でも3日分の食料が必要になります。飲料水や缶詰、レトルト食品などを備えておきましょう。

避難所へ避難する場合

- 町の備蓄品に限りがあることや使い回しを避ける必要があることから、可能な限り日用品を持参してください。
- また多くの人が避難することが想定されるので、感染症防止対策に協力をお願いします。

アルコール除菌なども持参ください

避難者カード

避難世帯の代表者名や住所、家族の状況などを記入します。

避難所を利用するときは…

●受付時に体温測定、手指消毒を行い、健康状態チェックシートと避難者カードを記入してください。(発熱など体調不良の人は別のスペースでの避難となります。)

●避難所内ではマスクを着用し、原則として避難者(または世帯)ごと約2メートルの間隔を空けてください。

●咳エチケット、こまめな手洗いを徹底してください。

●地震や津波などの大規模災害時だけでなく、一時的な大雨や台風来時などの避難の際にも、マスクや食料、座布団(敷物)、毛布、モバイルバッテリーなど必要となるものはできる限り持参してください。

健康状態チェックシート

感染症患者の濃厚接触者でないかの確認や、体温、風邪などの症状がないかを記入します。

洪水浸水想定区域 (計画規模)

